

資料 1

平成 29 年度  
嘉麻市立図書館事業総括表

# 平成29年度嘉麻市立図書館事業総括表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	H 29 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
1	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	図書館施設管理運営事業	施設・資料・図書館システムの適切な管理を行い、利用者が図書館を快適にかつ安心して利用できるようにする。	4月～3月	①施設の維持管理 ②資料の購入・管理・保存 ③図書館システムの管理運営 ④移動図書館車の運行 (市内48箇所)／2週間に1回 ⑤図書館だよりの発行／月1回 ⑥図書館協議会の開催／年3回	・図書館システムの安定稼働により地域を問わず資料貸出等の利用者サービスを円滑に行うことができた。 ・移動図書館車の運行については、新たに14箇所(学校等)に巡回拡大することとなり、児童の読書活動を支援する環境づくりを広げることができた。	・移動図書館車の運行について、地域の駐車場所の安全性を確認し、適切な運行ができるように調整を行う必要がある。 ・長期的な図書館サービスの指針を定めた図書館計画の策定について検討する必要がある。	A
2	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	図書館職員(図書館司書)研修	図書館司書のスキルアップを行い、図書館利用者へのサービスの向上を目指す。	市内研修 5月25日 1月25日  県立図書館研修 4月～3月	①公共図書館司書と学校図書館司書と合同による市内研修会の開催／年2回 ・子どもの読書と発達についての研修 ・図書館の自由に関する宣言についての研修 ②公共図書館司書と学校図書館司書との意見交換会の実施／年2回 ③県立図書館等主催研修への参加／1人年2回程度参加 ・資料の製本や修理等実務講習 ・子どもの読書活動に関する研修 ・電子書籍サービスに関する研修 ・ビブリオバトルに関する研修 ・レファレンス及び郷土資料に関する研修 ・市民への読書活動の普及啓発に資する研修	①市内研修 ・子どもの読書活動や図書館の資料提供において図書館司書としての基礎的な実務を学ぶことができた。 ②意見交換会 ・学校図書館及び公共図書館が互いの改善点や疑問を共有することで、今後の連携事業について検討することができた。 ③県立図書館等主催研修参加 ・県立図書館における研修に参加することで司書としての幅広い知識の習得が図られ、専門性の向上を図ると共に図書館業務に知識を活かすことができた。	①市内研修 ・公共図書館司書と学校図書館司書の双方のスキルアップが図られるような研修内容を設定することが必要である。 ②意見交換会 ・今後も継続していくとともに、連携が深まるように開催回数を増加することにより、子どもの読書活動を推進していくことが必要である。 ③県立図書館等主催研修参加 ・職員全体で習得した知識や技術を共有できるように努めることが必要である。	A
3	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	おはなし会	子どもたちに本に親しむ機会を提供することにより、子どもたちの読書習慣の涵養を図り、図書館の利用を促進する。	4月～3月	①乳幼児向けおはなし会の実施／月1回～2回 ②児童向けおはなし会・工作会の実施／月1回 ③映画会の実施／年1回～2回	・読み聞かせ等をとおして保護者や子ども達に読書親しむ機会を提供することができた。 ・乳幼児向けおはなし会については、参加した方同士の交流が深まり、児童向けおはなし会については、子どもの興味をひくような内容を工夫し好評を得ている。  ■おはなし会平均参加者数比較 乳幼児向け／平成28年度:14.1人 平成29年度:14.2人 児童向け／平成28年度:13.1人 平成29年度:17.9人	・他部署との連携強化を図るとともに、内容の充実を図り、更なる参加の呼びかけやPR方法の工夫が必要である。 ・学校行事や市内で開催される各種行事と重複しないように配慮する必要がある。	A

# 平成29年度嘉麻市立図書館事業総括表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	H 29 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
4	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	出張おはなし会(朝の読書活動含む)	子どもたちに本に親しむ機会を提供することにより、子どもたちの読書の習慣づくりを図り、図書館の利用を促進する。	5月～2月	①地域の保育所・小学校等の施設における絵本の読み聞かせやブックトークの実施 ②土曜未来塾における絵本の読み聞かせやブックトークの実施	・保育所や学校、土曜未来塾で子ども達に読み聞かせ等を行うことで、読書の楽しさを伝えることや、本に触れる機会を提供することができた。特に図書館や読書に日頃から親しんでいない子どもたちにも働きかけができる点がメリットとしてあげられる。 ・図書館職員が各施設に出向くことで、子ども達との交流が生まれ、図書館を利用するきっかけ作りとすることができた。  ■読み聞かせ及びブックトーク実施回数 平成28年度:56回(参加者数/3,078人) 平成29年度:67回(参加者数/2,987人) ■土曜未来塾実施回数 平成28年度:10回(参加者数/155人) 平成29年度:11回(参加者数/215人)	・学校での自主的な読書活動に繋がるような具体的な取組を行うため、公共図書館司書と学校図書館司書との連携強化を図ることが必要である。	A
5	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	ブックスタート事業	絵本を通して親子の心の触れ合う時間を提供し、住民の子育て支援と乳幼児期からの読書習慣を涵養することで図書館利用を促進する。	4月～3月 月1回	①健康課が実施する4ヶ月健診に併せて、ブックスタート事業の意義の説明 ②絵本2冊を含むブックスタートバックの配布 ③健診会場において、赤ちゃんと保護者に対する絵本の読み聞かせの実施	・乳幼児及び保護者に対し、乳幼児に対する言葉かけや親子で楽しい時間を過ごすことの大切さや絵本に親しむきっかけづくりや乳幼児向けおはなし会等への参加、図書館の利用啓発ができた。 ・他部署との連携・協力により、子育て支援の情報を提供できた。 ・ブックスタートバックの配布率100%を目指し取組を行い、その実績をあげることができた。  ■配布率 平成28年度100% 平成29年度100%(見込み)	・ブックスタートバック配布の徹底や子育て支援事業への橋渡しをスムーズに行えるように、各部署との更なる連携・協力を図ることが必要である。 ・配付後に図書館利用に繋がるような働きかけを積極的に行う必要がある。 ・現在の体制を継続できる抱っこボランティアの人員確保のため、引き続き新規ボランティアを育成する必要がある。	A
6	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	子育て支援講座(絵本ですくすく)【ブックスタートフォローアップ事業】	・ブックスタート事業のフォローアップ事業として、親子で触れ合いを持つ機会を提供すると共に、保護者に乳幼児期における読書活動(読み聞かせ)の大切さを理解してもらい、子ども達の読書習慣の涵養を図る。	山田/9月7日 稲築/11月22日 碓井/5月28日 嘉穂/7月30日	山田/子どもと絵本についての講義 稲築/読み聞かせとヨガ 碓井/親子ワークショップ 嘉穂/親子ふれあい遊び	・親子の読み聞かせやコミュニケーションを促進するための様々な講座を行い好評であった。 ・保護者のみを対象とした講義形式の講座では、託児の受入れを行い保護者が安心して受講できる環境を整えることができた。  ■参加者数 山田/13組(定員/20組) 稲築/11組(定員/20組) 碓井/13組(定員/15組) 嘉穂/20組(定員/20組) ■アンケートの平均満足度 山田/100% 稲築/93% 碓井/99% 嘉穂/96%	・子育ての時期に読書活動の啓発を図りながら受講者のニーズに合うものを組み合わせる等の工夫を行うことで、新規参加者増を図る必要がある。 ・日常的な図書館利用に繋がる事業となるような働きかけを行い、PR方法についても更なる検討が必要である。	B

# 平成29年度嘉麻市立図書館事業総括表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	H 29 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
7	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	子ども読書の日事業	4月23日の子ども読書の日を契機として、子どもたちが積極的に読書に親しむ環境を整え、子ども達の読書意欲を喚起できるような取組みを実施し、住民全般に理解と関心を深める。	4月1日～5月31日	①絵本展 ②図書館ビンゴ ③おはなし会スペシャル ④司書おすすめの本のリスト配布 ⑤移動図書館車の特別運行 ⑥おすすめ本の展示 ⑦全国訪問おはなし隊 他	・子ども達が楽しみながら読書に親しむ環境づくりを行い、読書意欲を喚起することができた。 ・図書館ビンゴへの参加を毎年楽しみにしている子ども達もあり、事業の定着化が見られ読書活動の推進が図られている。 ・今年度については、講談社の全国訪問おはなし隊の招致ができ、多くの親子連れに読書活動に触れる機会を提供することができた。  ■図書館ビンゴ参加者数 平成28年度:674枚 平成29年度:472枚	・学校との連携を深め、図書館事業のPRについて協力を促し、子ども達の来館が増えるような取組を実施する必要がある。 ・図書館ビンゴについては、カウンターでの声かけを含め周知徹底が不足していたため、PR方法を工夫する必要がある。	B
8	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	夏休み等子ども向けイベント	夏休み期間等に図書資料に関連した事業を開催することで、今までと違った側面からの本の楽しさに触れてもらうことで、図書館利用を促進する。	①夏休み期間:各館2回開催 春休み期間:各館2回開催 ②山田/8月10日 ③稲築/7月29日 ④碓井/7月28日 ⑤嘉穂/7月21日	①一日図書館員(夏休み・春休み) ②山田/福岡管区气象台出前講座 ③稲築/工作会 ④碓井/夏休み自由研究支援講座 ⑤嘉穂/九州工業大学ワークショップ	・気象庁や九州工業大学の他機関と連携することにより、子ども達に様々な体験を提供し、自ら学ぶためのきっかけ作りを行うことができた。 ・図書館資料を利用した内容としたことで、図書館利用に繋がった。 ・市内の他の係の事業と連携したことにより、図書館行事に参加したことのない方に対して読書に触れる機会を提供することができた。  ■参加者数 山田/33人(定員30人) 稲築/12人(定員15人) 碓井/ 0人(定員15人) ※応募1人のため中止 嘉穂/25人(定員30人)	・一日図書館員については、申込者が減少したため、対象年齢の拡大や他の内容に変更する等工夫が必要である。 ・概ね多くの申込み数があり好評であったが、一部内容によって、申込みが少なく中止する事業があった。今後は、体験と同時にものづくりを含め、子どものニーズに合わせた内容を検討する必要がある。	B
9	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	うちどく事業	福岡県子どもの読書活動充実事業の一環として、家庭における子どもの読書活動の啓発を図ることを目的として開催する。主に保護者に向けて子どもと読書体験を共有することの意義を感じていただくとともに、本への興味・関心を促進する。また、より多くの保護者に参加してもらうため、嘉麻市PTA連合会研修会の共催とする。	嘉穂/1月14日	1部:講演「豊かな心を育む読書」 講師:永井勝子氏 2部:ビブリオバトル 発表者:PTA会員	・初めての試みとしてPTA連合会研修会の共催事業を実施したが、日ごろ図書館事業に参加したことのない方のうちどく事業に対する理解を深めていただくことができた。 ・ビブリオバトルは初めて参加する方が多く、気軽に本に親しむ機会を提供でき、関心を示していただく方が多かった。  ■参加者数/137人(定員200人) ■アンケートの平均満足度/74%	・今後、学校やPTAと連携できる事業があれば積極的に参加することで、保護者に対する積極的な働きかけを行う必要がある。 ・次年度以降も、継続してうちどく事業を実施し、実際に家庭での読書に繋がるとような取組を検討する必要がある。	B

# 平成29年度嘉麻市立図書館事業総括表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	H 29 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
10	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	秋の読書まつり	本と雑誌のリサイクル市などを行い、市民が図書館に親しむ機会を提供し、もって図書館の利用を促進する。	10月～11月	① 図書館スタンプラリー ② 本と雑誌のリサイクル市 ③ おはなし会スペシャル ④ 移動図書館車の特別運行 ⑤ 付録抽選会／山田 ⑥ 中高生向き図書展示コーナー	・幅広い年代の方に読書に親しんでいただけ的事业が展開できた。 ・図書館スタンプラリーでは、各館で準備したオリジナルの景品が好評で、ゴールした方が昨年度よりも多かった。 ・本と雑誌のリサイクル市では、多くの方に来場いただき、除籍雑誌及び図書等の有効活用ができた。 ・今年度から中高生に向けた図書展示コーナーを設置し、多くの方に本を手にとっていただくことができた。  ■ 図書館スタンプラリー参加者数 平成28年度:1,361枚 平成29年度:1,351枚	・イベントの開催を知らない方も居られたため、今後はさらにカウンターでの声かけを中心に、PR方法を改善する必要がある。 ・中高生向きの展示を発展させ、もっと多くの中高生に参加していただけるようなイベントについて検討する必要がある。	B
11	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	読書講演会	秋の読書まつりの一環として、読書活動の啓発と図書館利用の促進を図ることを目的として読書講演会を開催し、本への興味・関心を促進する。	10月28日	第1部: 落語をテーマにしたブックトーク 図書館司書 第2部: 落語公演 講師: 川崎亭好朝氏	・ブックトークと落語公演の同時開催が大変好評で、アンケート結果にもこのような講演会を望まれる声が多かった。  ■ 参加者数/49人(定員90人) ■ アンケートの平均満足度/89%	・開催当日、天候不良ではあったが、参加者数49人と定員90人よりも大幅に下回った。今後、PR方法について改善する必要がある。	B
12	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	図書館教養講座(ラクラク読書会)	読書に関心をもっていただくため、講義と同じ文学作品の意見交換をとおして、図書館の利用を促進する。	6月～12月 年6回	短編小説または随筆の講義及び輪読、意見交換	・文学への造詣を深め、知識や教養を学んでいただく貴重な機会となり、読書活動の推進を図ることができた。 ・参加者同士で意見交換を行うことにより、新たな視点で読み直し、参加者の交流が深まった。  ■ 参加者数/23人(定員30人) ■ アンケートの平均満足度/80%	・参加者数23人と定員30人を少し下回る参加者数となったため、今後PR方法等を工夫する必要がある。	A
13	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	大人のためのおはなし会	大人を対象にしたおはなし会を開催し、癒しの時間や今までと違った本との出会いを提供することで、図書館利用を促進する。	9月15日	大人のためのおはなし会の開催 ・読書ボランティアの協力により、大人向けに「みんなで語り継ぐ『筑豊の民話』」をテーマとした語りや紙芝居等を取り入れたおはなし会を開催	・今年度初めての試みとして夜間の開催としたが、一定の参加者数が得られた。 ・アンケート結果では、企画内容「郷土に語り継がれるお話」及び事業全般に対して、「とても良かった」との多くの感想をいただいた。 ・読書ボランティアの協力により魅力のあるプログラム構成を組むことができた。また、ボランティア活動の発表の機会となった。 ■ 参加者数 平成28年度:48人(定員50人) 平成29年度:45人(定員50人)	・開催時間については参加者の事情により様々な意見があったが、相対的に高齢の参加者も多く、夜の時間帯は参加しづらいという意見があった。来年度は開催時間の検討が必要である。 ・開催には読書ボランティアの協力が必須であり、継続的な協力体制の確保が必要である。	A

# 平成29年度嘉麻市立図書館事業総括表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	H 29 年 度 総 括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
14	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	大人向け工作会	図書館の資料に関連した事業を開催することで、今までと違った側面からの本の楽しさに触れてもらい、新たな利用者の開拓を図り、図書館利用を促進する。	11月19日	大人の工作会の開催 「世界にひとつだけの和綴じノートをつくろう」	・工作会に参加された方に対し、図書館資料の情報提供を行うことで図書館利用に繋がった。 ・定員を超える申込みがあり、今まで図書館行事に参加したことのない方の参加も多かった。 ・参加者全員が熱心に取り組まれ、アンケートの感想でも大変好評であり、今回のような企画を要望する声が多かった。  ■参加者数 平成28年度:11人(定員15人)	・託児の準備をしていたが、申込みが無かった。しかし、今後も子育て支援の観点から託児を実施する必要がある。 ・設定した時間が超過したため、今後は適切な時間設定をする必要がある。	A
15	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	図書館資料の特集展示	時事や地域文化に関するテーマ設定を行い、図書館資料を定期的に展示することにより、図書館利用を促進する。	4月～3月	①一般図書・児童図書(毎月) ②新春！初読み2018(1月)	・特集展示コーナーに設置することにより、利用者の興味・関心を促し、閲覧や貸出に繋がっている。 ・事業のPRについて新聞掲載を活用させていただくことにより、市民への周知が図れた。  ■新春初読みの参加者数 平成28年度:70人 平成29年度105人	・今後も時宜に適した社会情勢や、利用者のニーズに合わせた魅力あるテーマ設定を行う必要がある。	A
16	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	赤ちゃんタイム	乳幼児の読書推進活動をより活発に進めるため、市内各図書館で定期的に時間を設定し、図書館の利用促進を図る。	5月～3月	乳幼児向けおはなし会と併せて、親子で布絵本等で遊んだり、図書館職員や子育て支援センター職員が絵本や子育ての相談業務等を行う 各館で毎月1回、午前10時～12時	・絵本や子育ての相談を受け、図書館独自の子育て支援ができています。 ・今まで図書館に来ることをためらっていた保護者に対し、気兼ねなく、安心して、以前よりもゆっくりと図書館を利用していただく機会を提供することができました。	・他部署との連携強化を図るとともに、内容の充実を図り、更なる参加の呼びかけやPR方法の工夫が必要である。	A
17	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	③ 図書ボランティア養成事業	読書ボランティア講座	より充実した読書活動推進のための事業展開を図るため、読書ボランティアの養成及び支援を行う。	①読書ボランティアスキルアップ研修 7月6日 ②新規ボランティア養成講座 6月13日・27日・7月11日・25日	①読書ボランティアスキルアップ研修／年1回 ・絵本選びや読み聞かせの事前準備に関する学習 ・子どもたちを取り巻く現状について ②新規ボランティア養成講座 ・読み聞かせボランティア講座／年4回	①読書ボランティアスキルアップ研修 ・現在活動中の読書ボランティアのスキルアップが図られ、子どもと本の橋渡しを目的とした読み聞かせをより充実したものとする事ができた。 ②新規ボランティア養成講座 ・学校やおはなし会等で行う読み聞かせや手遊び、小道具の制作を中心とした初心者向けの学習の機会を提供することができた。また、受講後は、図書館行事へのボランティア協力について賛同していただけることとなった。  ■スキルアップ研修参加者数 平成28年度:18人 平成29年度:33人  ■養成講座参加者数 平成28年度:10人(定員15人) (延べ37人/出席率93%) 平成29年度:8人(定員20人) (延べ23人/出席率72%)	①読書ボランティアスキルアップ研修 ・開催日時や学習内容を検討し、ボランティアが参加しやすい体制とニーズを考慮し、より多くの方々に受講していただけるような工夫が必要である。 ②新規ボランティア養成講座 ・ボランティア活動への移行がスムーズに運んでいない面があるため、今後も継続的に働きかけをすることが必要である。 ・現在活動中のボランティアが、様々な理由により減少傾向にあるため、新たなボランティア獲得が必要であり、今後若い世代へのアプローチが必要である。 ・一定期間、絵本の読み聞かせ等の講座内容を継続して行ってきたため、内容を検討する必要がある。	A